

第3節 社会教育施設

小分類：中央公民館、社会福祉施設、文化学習施設、生涯学習施設

1 中央公民館（基幹公民館）

中央公民館は、全市にわたり統一的な処理を行う事業や、各地区公民館等との連絡調整に関する事業などを行っています。

また、基幹公民館は、設置区域内の統一的な処理を行う事業や、各地区公民館等との連絡調整に関する事業などを行っています。

基幹公民館は、教育委員会の所管となっており、用瀬・気高町中央公民館を除いて、図書室が設置されています。そのほか、体育館など他施設と一緒に設置されている鹿野町中央公民館など、様々な形態があります。

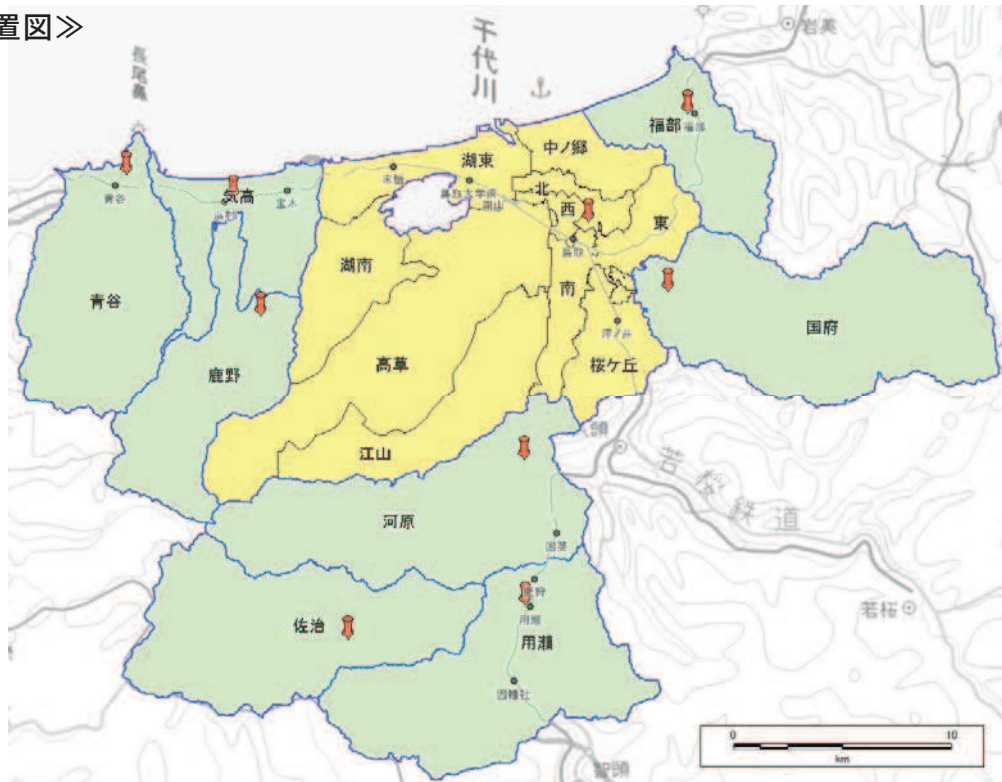
【供給面】

施設総数：10 総延床面積：9,673㎡

《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			2							1	1	1	1	1	1	1	1

《配置図》



《設置根拠》

各中央公民館は、鳥取市における社会教育を振興し、住民の福祉を図るため、「鳥取市公民館条例」に基づいて設置及び管理されています。

《建物の状況》

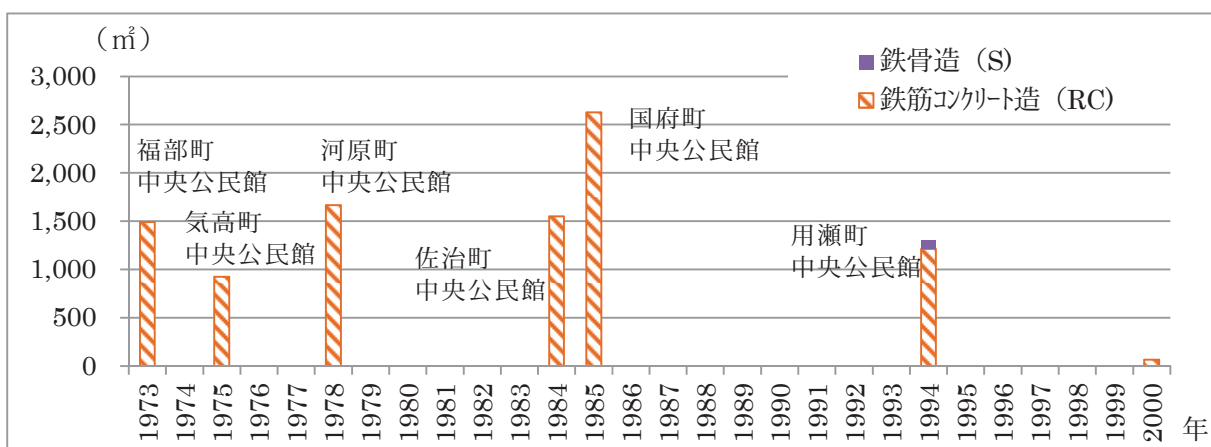
施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
中央公民館	上魚町	1968	2,252	鉄筋コンクリート造
鳥取中央公民館	上魚町	1968	2,252	鉄筋コンクリート造
国府町中央公民館	国府町庁	1985	2,628	鉄筋コンクリート造
福部町中央公民館	福部町細川	1973	1,489	鉄筋コンクリート造
河原町中央公民館	河原町渡一木	1978	1,667	鉄筋コンクリート造
用瀬町中央公民館	用瀬町別府	1994	1,214	鉄筋コンクリート造
佐治町中央公民館	佐治町加瀬木	1984	1,549	鉄筋コンクリート造
気高町中央公民館	気高町浜村	1975	923	鉄筋コンクリート造
鹿野町中央公民館	鹿野町鹿野	1981	2,377	鉄筋コンクリート造
青谷町中央公民館	青谷町青谷	1993	3,192	鉄筋コンクリート造

《公民館の種別と施設状況》

施設名	種別	併設機能等
中央公民館	中央公	市役所第二庁舎内
鳥取中央公民館	基幹公	市役所第二庁舎内
国府町中央公民館	基幹公	大ホール（集会施設）を有する
福部町中央公民館	基幹公	福部地区公民館を併設
河原町中央公民館	基幹公	河原町老人福祉センターを併設
用瀬町中央公民館	基幹公	用瀬町民会館内
佐治町中央公民館	基幹公	佐治地区公民館を併設
気高町中央公民館	基幹公	浜村地区公民館を併設
鹿野町中央公民館	基幹公	鹿野地区公民館を併設。農業者トレーニングセンターを有する
青谷町中央公民館	基幹公	青谷町総合支所内

【品質面】

《建築年と構造別延床面積》

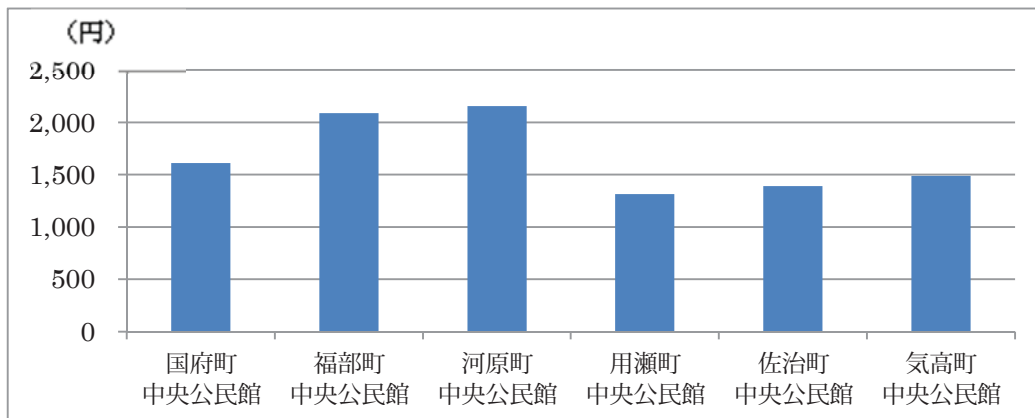


※文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

【財務面】

《光熱水費》

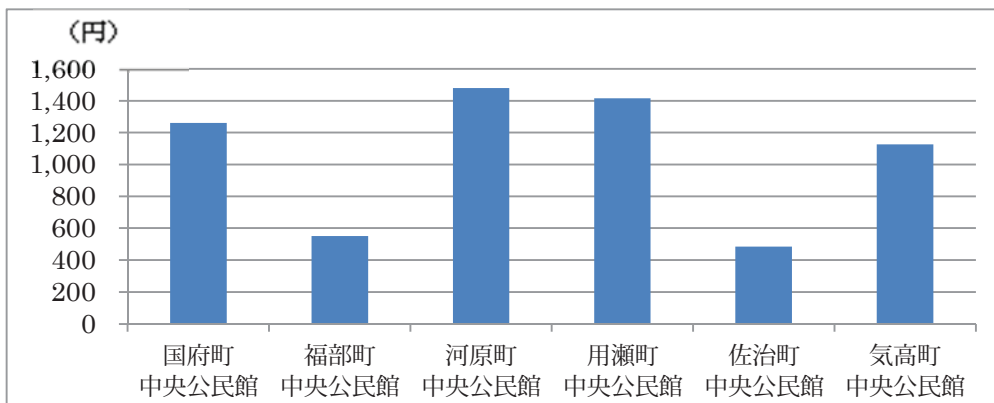
2012年度の光熱水費は、2,659万円／年であり、1館平均は443万円／年となっています。施設面積1㎡あたりの光熱水費は、次のとおりです。



※文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

《維持管理費》

2012年度の維持管理費は、1,031万円／年であり、1館平均は172万円／年となっています。施設面積1㎡あたりの維持管理費は、次のとおりです。



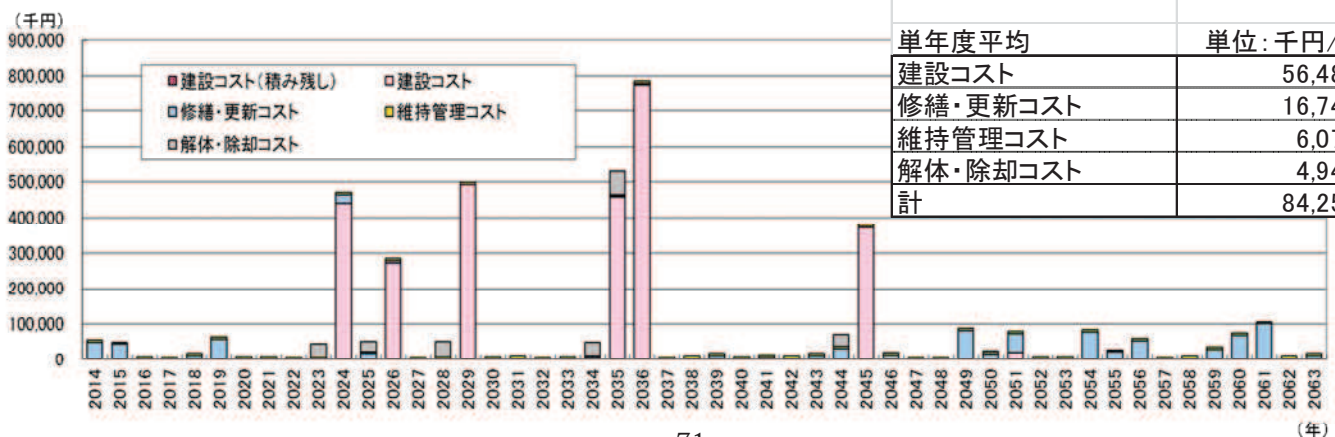
※文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

【更新経費】

《今後50年の修繕・更新費用の試算》

今後50年間に発生する修繕・更新費用は42億1,000万円。年平均8,400万円と試算されます

50年間の総計		単位: 千円
建設コスト	2,824,150	
修繕・更新コスト	837,329	
維持管理コスト	303,908	
解体・除却コスト	247,275	
計	4,212,662	
単年度平均		単位: 千円/年
建設コスト	56,483	
修繕・更新コスト	16,747	
維持管理コスト	6,078	
解体・除却コスト	4,946	
計	84,253	



2 社会福祉施設（人権福祉センター）

人権福祉センターは、地域における人権啓発及び福祉活動の拠点として、人権が尊重される社会の実現に寄与するために設置しています。以前は「隣保館」と呼んでいました。

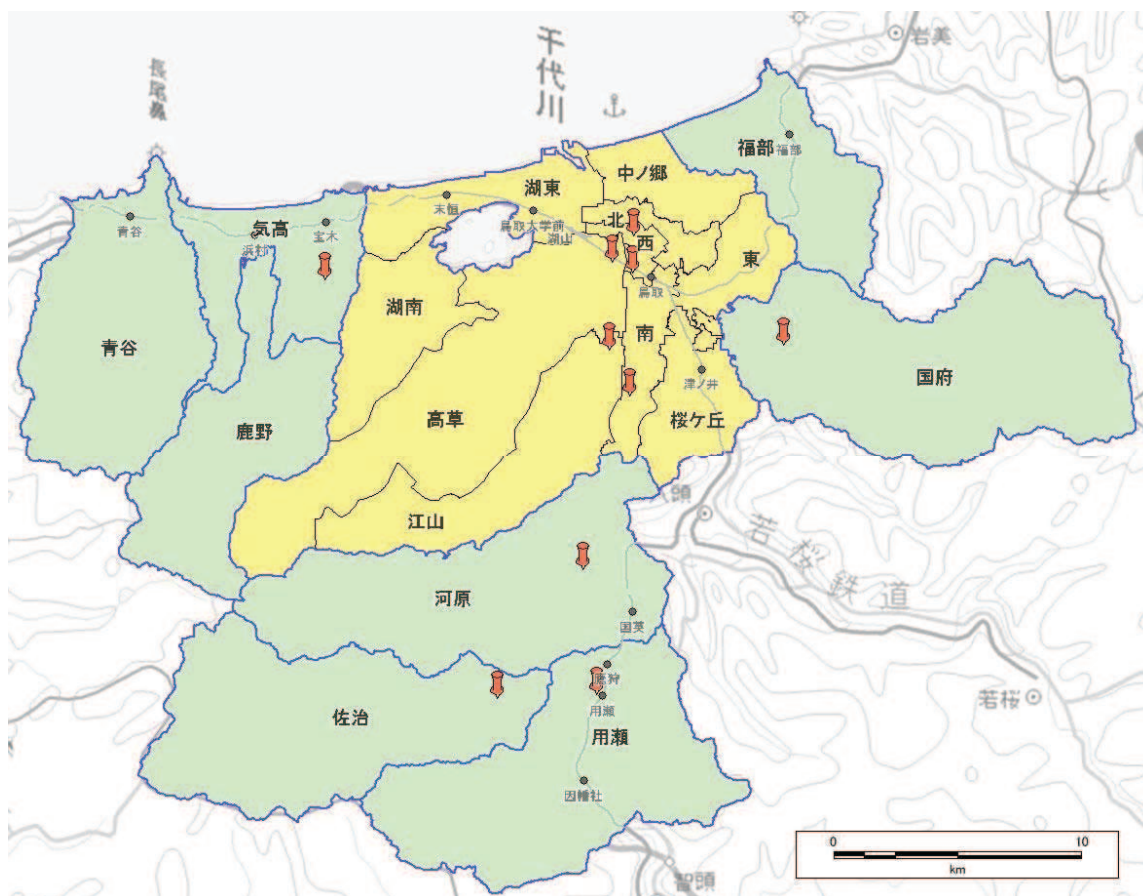
【供給面】

施設総数：10 総延床面積：3,634㎡

《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	2	1					1	1		1		1	1	1	1		

《配置図》



《設置根拠》

各人権福祉センターは、地域における人権啓発及び福祉活動の拠点として、人権が尊重される社会の実現に寄与するため、鳥取市人権福祉センターの設置及び管理に関する条例に基づいて設置及び管理されています。

《建物の状況》

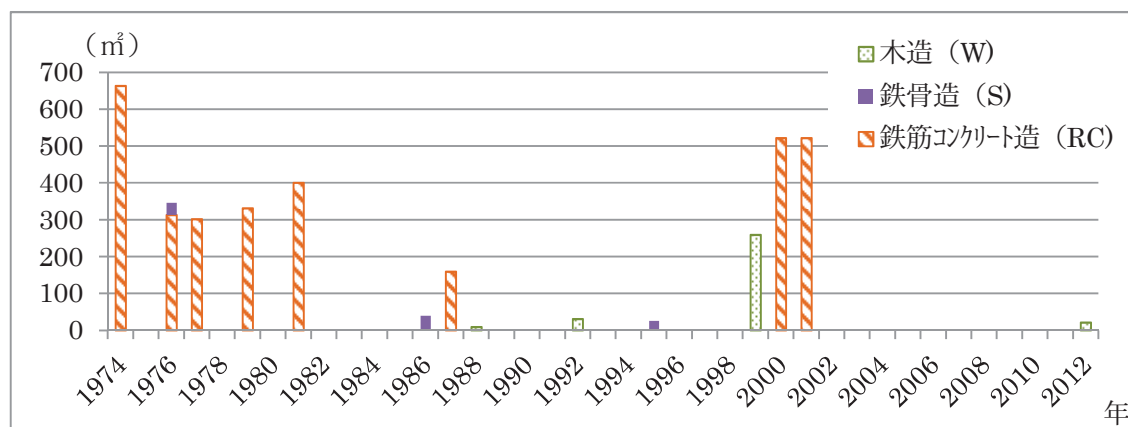
名称	位置	延床面積	建築年	主構造	備考
人権交流プラザ (中央人権福祉センター)	幸町	1,423	1977	鉄筋コンクリート造	①
高草人権福祉センター	古海	522	2000	鉄筋コンクリート造	
江山人権福祉センター	下味野	522	2001	鉄筋コンクリート造	
南人権福祉センター	八坂	664	1974	鉄筋コンクリート造	
西人権福祉センター	西品治	341	1979	鉄筋コンクリート造	
国府人権福祉センター	国府町麻生	503	1981	鉄筋コンクリート造	
河原人権福祉センター	河原町曳田	346	1976	鉄骨造	
用瀬人権文化センター	用瀬町別府	1,303	1994	鉄筋コンクリート造	②
佐治人権福祉センター	佐治町古市	301	1977	鉄筋コンクリート造	
気高人権福祉センター	気高町下光元	435	1987	鉄筋コンクリート造	

①中央人権福祉センターは、鳥取市人権交流プラザ内に設置（ホール機能を有する）

②用瀬人権文化センターは、用瀬町民会館内に設置（教育委員会用瀬町分室所管）

【品質面】

《建築年と構造別延床面積》



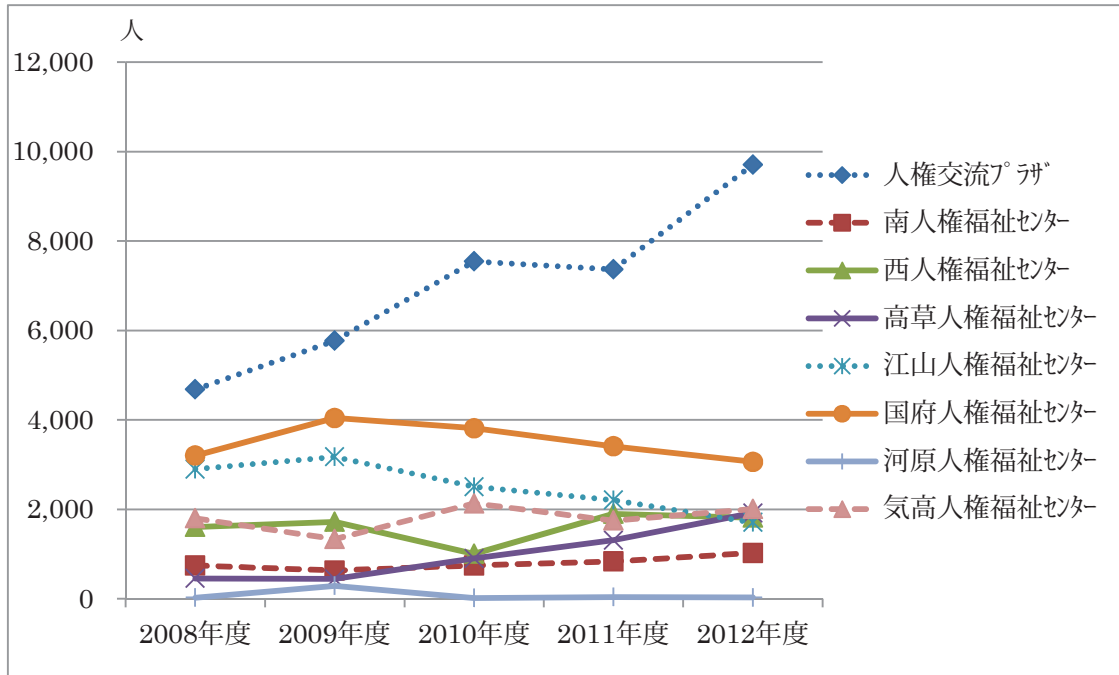
※人権交流プラザは広域集会施設（大会議室ホール）、用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）に含むため対象外

《利用料金》

時間区分	午前 9 時～午後 5 時	午後 5 時～午後 9 時
大会議室	1 時間につき 70 円	1 時間につき 140 円
大会議室以外の各室	1 時間につき 50 円	1 時間につき 100 円

【利用状況】

《利用者の推移》

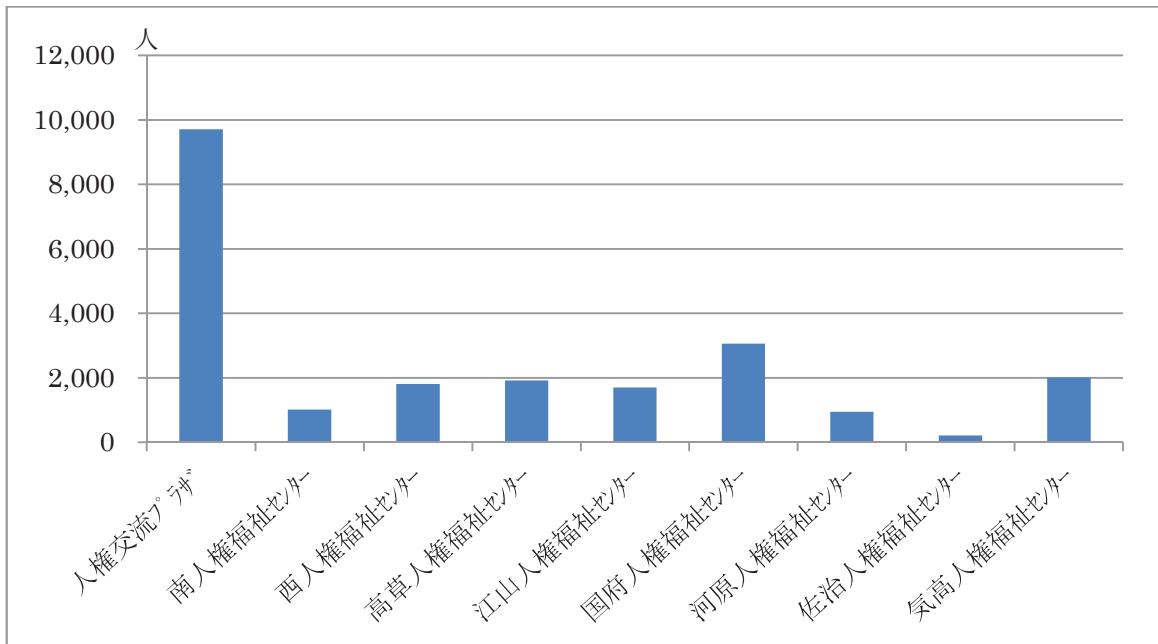


※用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

《利用状況（貸館部分）》

2012年度における利用状況は次のとおりです。

なお、人権交流プラザ（中央人権福祉センター）は、グラフ以外に大ホール（利用者数8,591人）があり、全体で18,297人の利用がありました。

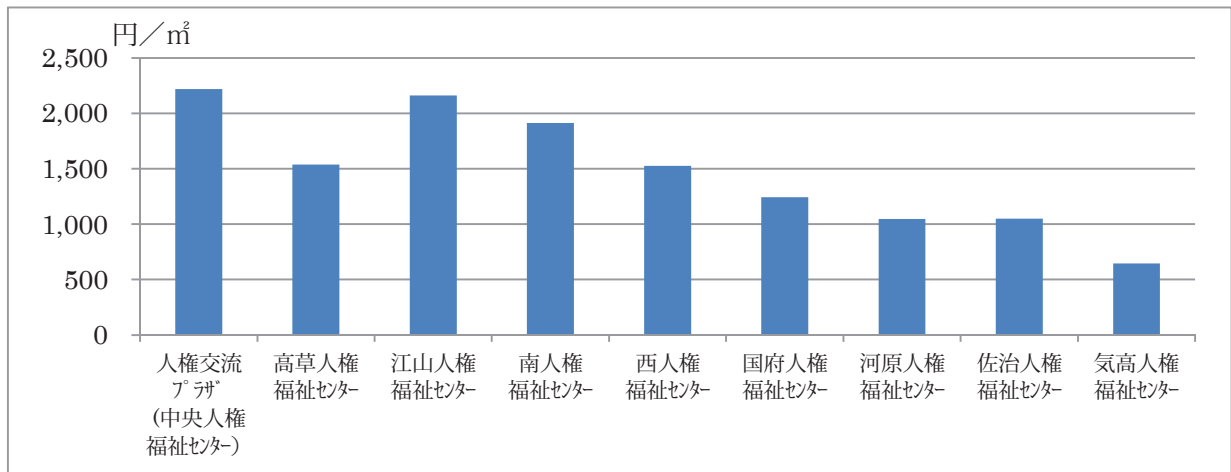


※用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

【財務面】

《光熱水費》

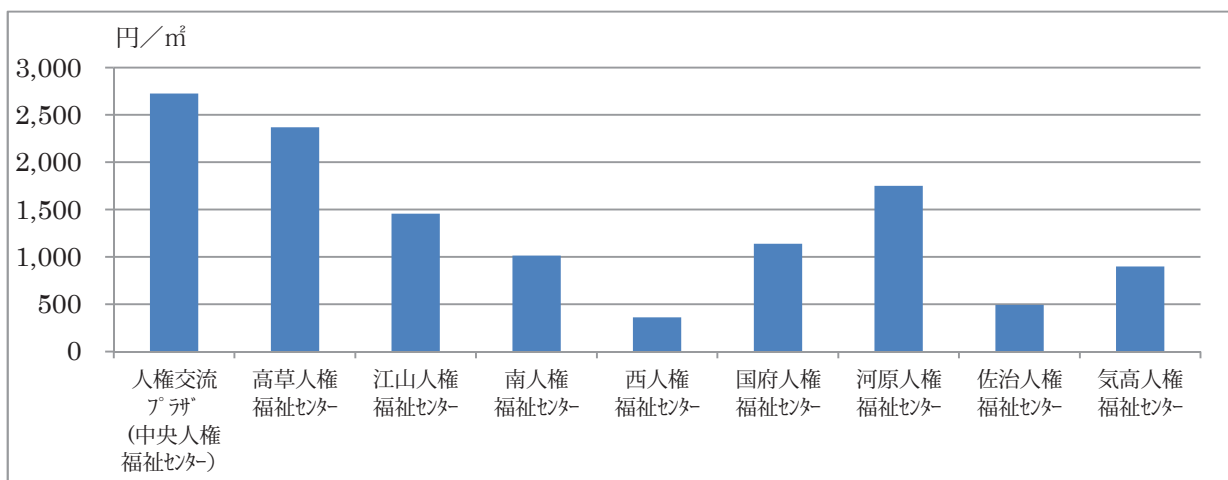
2012年度に発生した光熱水費は847万円であり、各センターにおける1㎡あたりの光熱水費は次のとおりです。



※用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

《維持管理費》

2012年度に発生した9センターの維持管理費は839万円であり、各センターにおける1㎡あたりの維持管理費は次のとおりです。



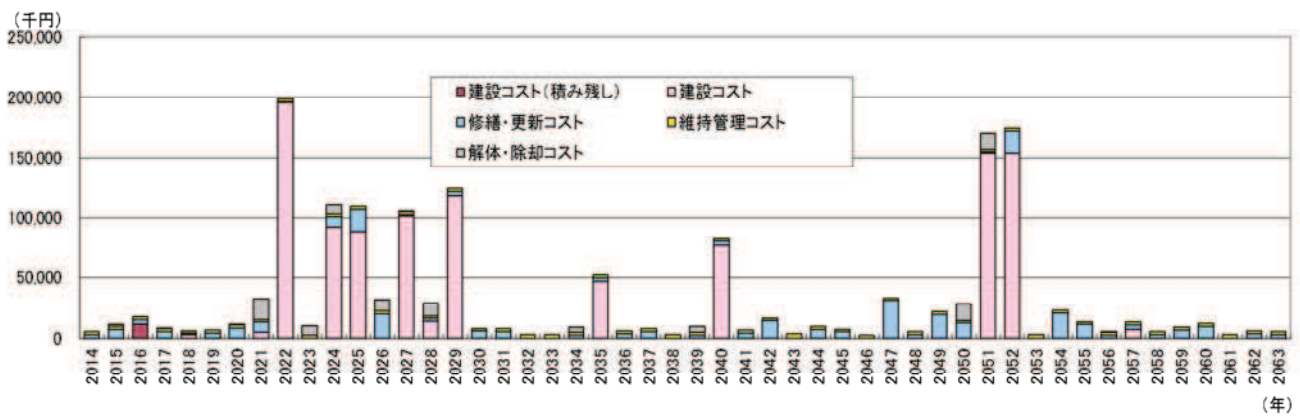
※用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

【更新経費】

《今後50年の修繕・更新費用の試算》

今後50年間に発生する修繕・更新費用は15億8,700万円。年平均3,100万円と試算されます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	1,068,074
修繕・更新コスト	316,067
維持管理コスト	110,985
解体・除却コスト	92,226
計	1,587,352
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	21,361
修繕・更新コスト	6,321
維持管理コスト	2,220
解体・除却コスト	1,845
計	31,747



3 文化学習施設

文化学習施設は、市民文化の向上や伝統的郷土芸能文化による地域の活力の向上を図るために整備されています。

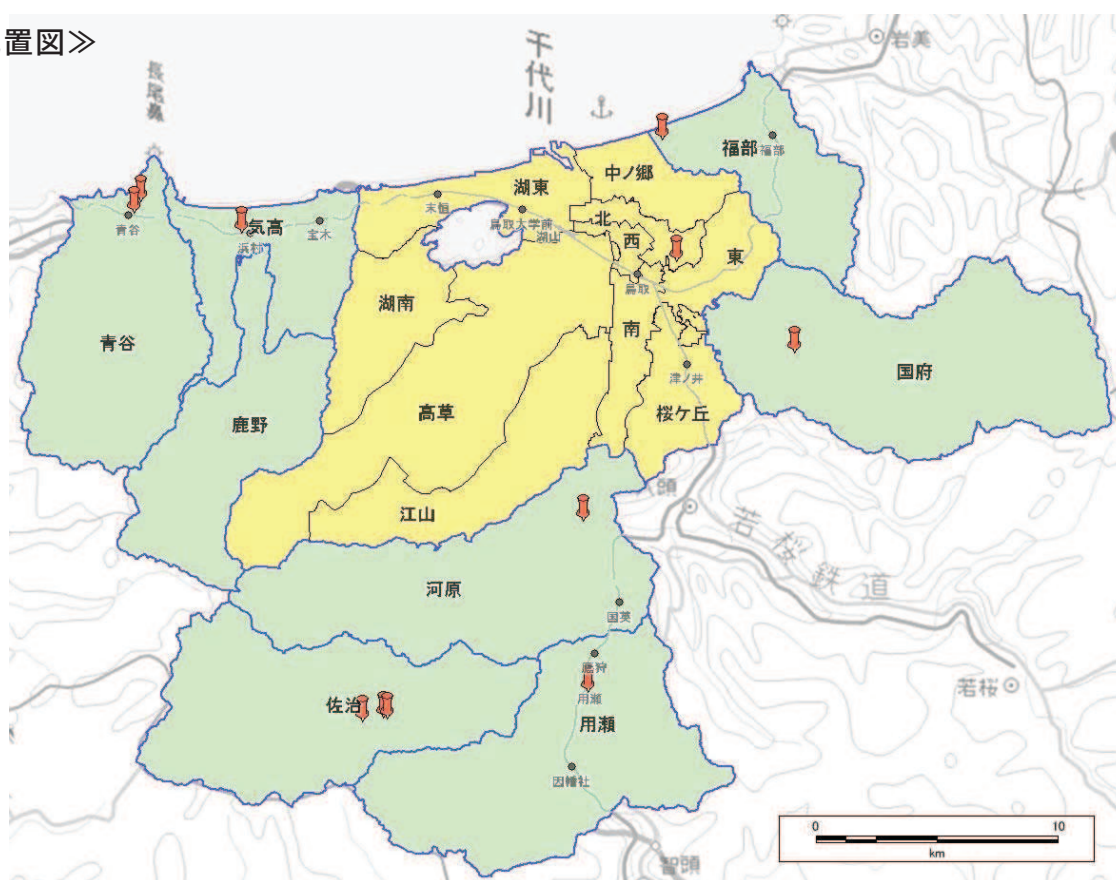
【供給面】

施設総数：12 総延床面積：6,822㎡

《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			1							1	1	1	1	4	1		2

《配置図》



《市条例で定められている文化学習施設の種類》

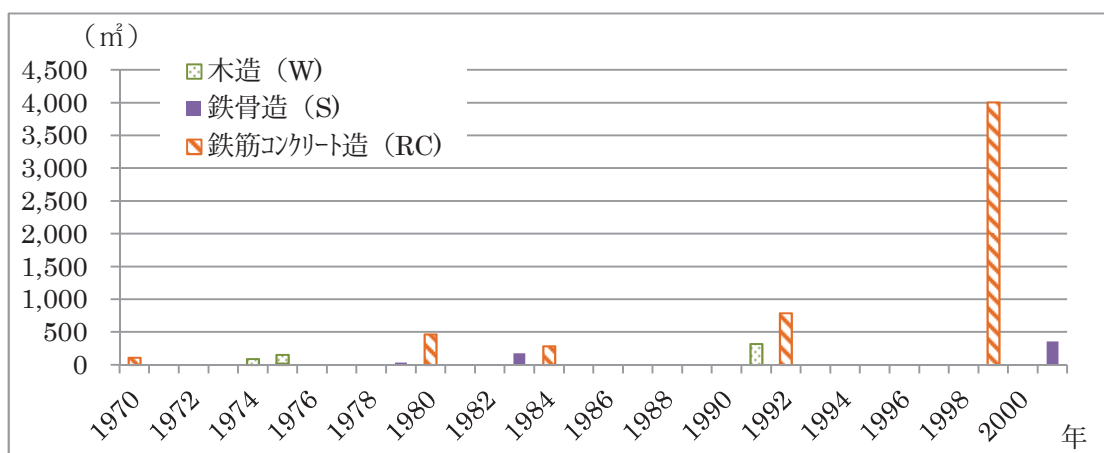
施設名	設置目的（条例上）
鳥取市歴史博物館	市民文化の向上及び発展に寄与する。
河原歴史民俗資料館	歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、市民文化の向上と学術の発展に資する。
用瀬郷土歴史館	
佐治歴史民俗資料館	
あおや郷土館	市民の教育、学術及び文化の発展に資する。
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡から発掘された貴重な遺物を展示し、市民文化の向上と学術の発展に資する。
佐治町和紙民芸館	地域の特産民芸品の発展と観光の振興を図る。
佐治町郷土文化保存伝習施設	伝統的郷土芸能文化により地域の活力の向上を図る。

《主な建物の状況》

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
鳥取市歴史博物館	上町	1999	4,007	鉄筋コンクリート造
河原歴史民俗資料館	河原町渡一木	1975	128	木造
用瀬郷土歴史館	用瀬町用瀬	1984	287	鉄筋コンクリート造
佐治歴史民俗資料館	佐治町福園	1974	91	木造
〃（ふるさと歴史館）	佐治町福園	1991	321	木造
佐治町郷土文化保存伝習施設	佐治町福園	1980	470	鉄筋コンクリート造
佐治町和紙民芸館	佐治町加茂	1983	182	鉄骨造
あおや郷土館	青谷町青谷	1992	723	鉄筋コンクリート造
青谷上寺地遺跡展示館	青谷町青谷	2001	359	鉄骨造

【品質面】

《建築年と構造別延床面積》



《観覧料（利用料）》

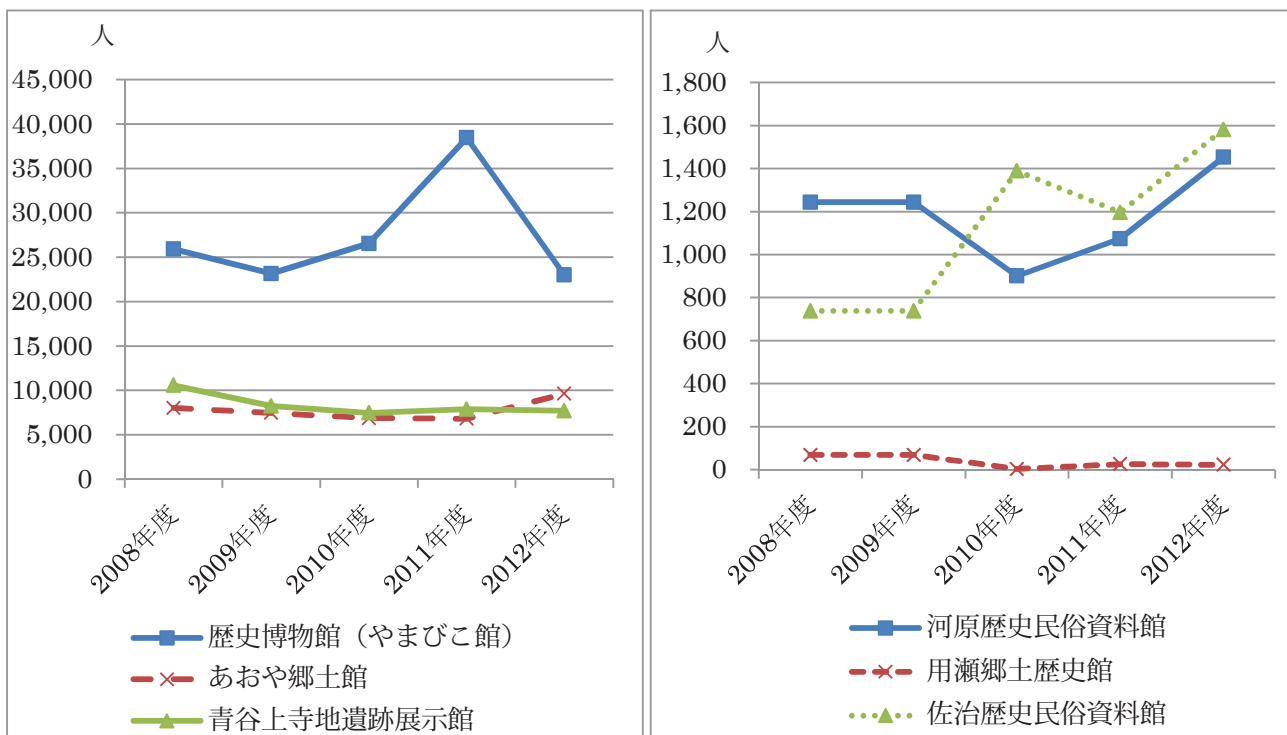
多くの施設が無料で観覧できる状態にあります。

区 分		観覧料(1人につき)	
		個人	団体
鳥取市歴史博物館	一般	300円	240円
	高校生以下、65歳以上	無料	無料
河原歴史民俗資料館		無料	無料
用瀬郷土歴史館		無料	無料
佐治歴史民俗資料館	一般	100円	50円
	小学生、中学生	無料	無料
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
青谷上寺地遺跡展示館 ()内は企画展観覧料	一般	無料(1,000円以内)	無料(800円以内)
	小学生、中学生	無料	無料
	高校生	無料(500円以内)	無料(400円以内)
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
あおや郷土館 ()内は企画展観覧料	一般	無料(1,000円以内)	無料(800円以内)
	小学生、中学生	無料	無料
	高校生	無料(500円以内)	無料(400円以内)
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
佐治町和紙民芸館		規定なし	規定なし
佐治町郷土文化保存伝習施設		規定なし	規定なし

【利用状況】

《利用者の推移》

文化学習施設の多くは、本市条例に基づく行政財産となっていますが、設置目的のとおり利用されていない施設や利用頻度が低い施設が見られます。



※佐治町和紙民芸館は閉鎖中

※佐治町郷土文化保存伝習施設は主に学校行事に使用

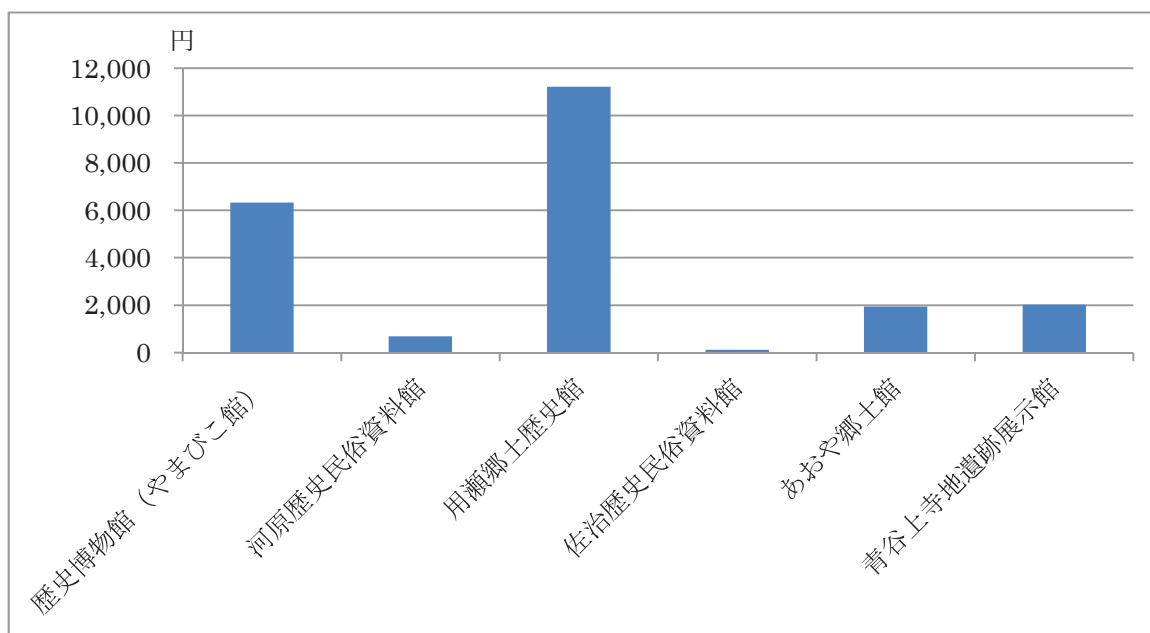
【財務面】

《管理方法等》

施設名	管理方法	備考
鳥取市歴史博物館	指定管理	指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団 指定管理料：145,448,000円（2012年度）
河原歴史民俗資料館	直営	観覧希望者は、教育委員会分室に申し込む （申込みがあった場合に分室職員が対応）
用瀬郷土歴史館	直営	
佐治歴史民俗資料館	直営	
あおや郷土館	指定管理	指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団
青谷上寺地遺跡展示館	指定管理	指定管理料：34,330,000円（2012年度）

《利用者 1 人あたりの公費負担額》

2012 年度において、利用者 1 人あたりに発生した公費負担は次のとおりです。



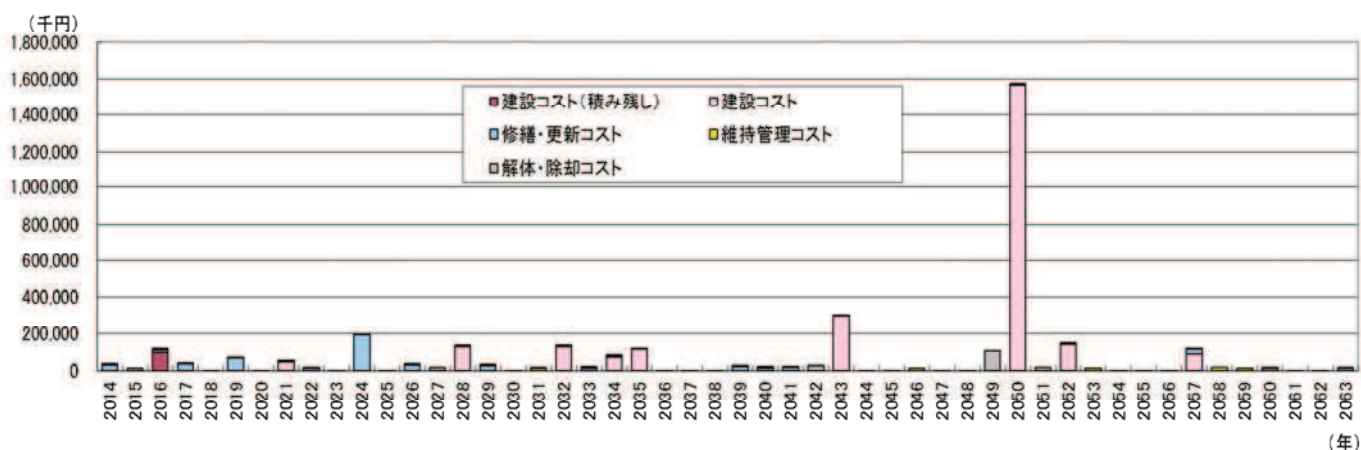
※直営施設は、「維持管理費・事業運営費」、指定管理施設は「指定管理料」から算出

《今後 50 年の修繕・更新費用の試算》

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 37 億円。年平均 7,400 万円と試算されます。2050 年に歴史博物館 (やまびこ館) が建替え時期を迎えます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	2,666,768
修繕・更新コスト	621,737
維持管理コスト	229,058
解体・除却コスト	177,478
計	3,695,041

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	53,335
修繕・更新コスト	12,435
維持管理コスト	4,581
解体・除却コスト	3,550
計	73,901



4 生涯学習施設（図書館・図書室等）

生涯学習施設は、様々な分野における市民の学習意欲に対応するための施設です。

その中でも、図書館は、図書館法及び地方自治法の規定に基づき、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例を制定し、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために整備しています。

その他、生涯学習センターと視聴覚ライブラリーを文化センター（広域集会施設）内に設置しています。

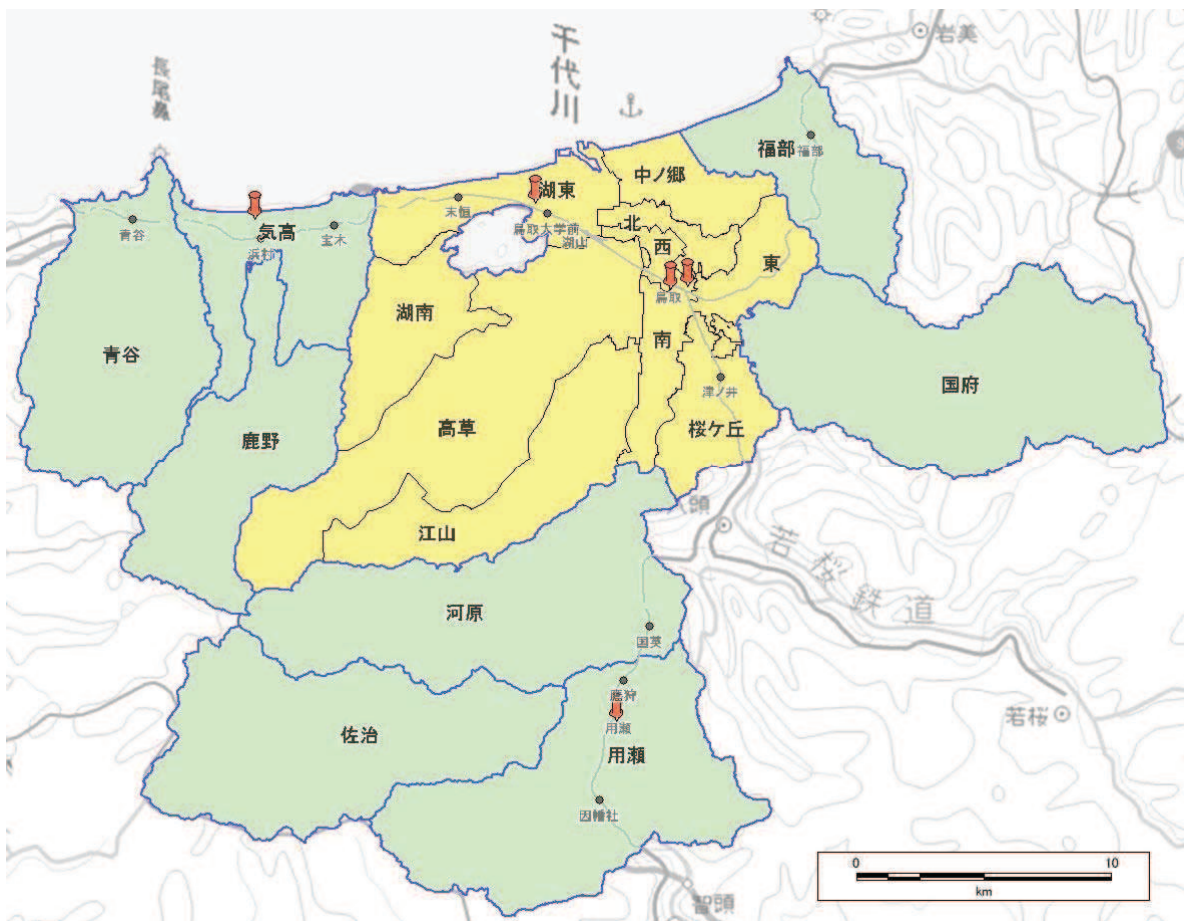
【供給面】

施設総数：6 総延床面積：900㎡

《施設配置数》

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		3			1								1		1		

《配置図》



【供給面・品質面】

《建物の状況》

施設名	位置	建築年	延床面積	構造	備考
中央図書館	富安二丁目	1989	4,595	鉄筋コンクリート造	①
用瀬図書館	用瀬町用瀬	1984	370	鉄筋コンクリート造	
気高図書館	気高町北浜	2003	466	鉄骨造	
学習・交流センター鳥取	湖山町西 一丁目	1997	2,232	鉄筋コンクリート造	②
生涯学習センター	吉方温泉	1981	6,098	鉄筋コンクリート造	③
視聴覚ライブラリー	三丁目				

①市役所駅南庁舎内に設置

(中央図書館は2階3,374㎡、1階(車庫)247㎡、地下974㎡)

②湖山西地区公民館等と併設

③鳥取市文化センター内に設置

※以下、学習・交流センター鳥取(国際交流プラザ)は地区集会施設(湖山西地区公民館)、生涯学習センター並びに視聴覚ライブラリーは広域集会施設(文化センター)を参照

①図書館(図書室)の現状

【品質面】

《開館時間等》

図書館を設置していない地域の中央公民館内に「図書室」を設置しています。

施設名	開館時間	休館日
中央図書館	9:00～19:00	火曜・最終木曜・年末年始
用瀬図書館	10:00～18:00	火曜・祝日の翌日・最終木曜・年末年始
気高図書館	10:00～18:00	火曜・祝日の翌日・最終木曜・年末年始
国府 図書室	9:00～17:00	月曜・祝日・年末年始
福部 図書室	8:30～22:00	祝日・年末年始
河原 図書室	8:30～22:00 月曜 17:15まで	祝日・年末年始
佐治 図書室	8:30～22:00 月曜 17:15まで 日曜・祝祭日 17:30まで	年末年始
鹿野 図書室	8:30～22:00 月曜 17:15まで	祝日・年末年始
青谷 図書室	8:30～19:00	月曜・祝日・年末年始

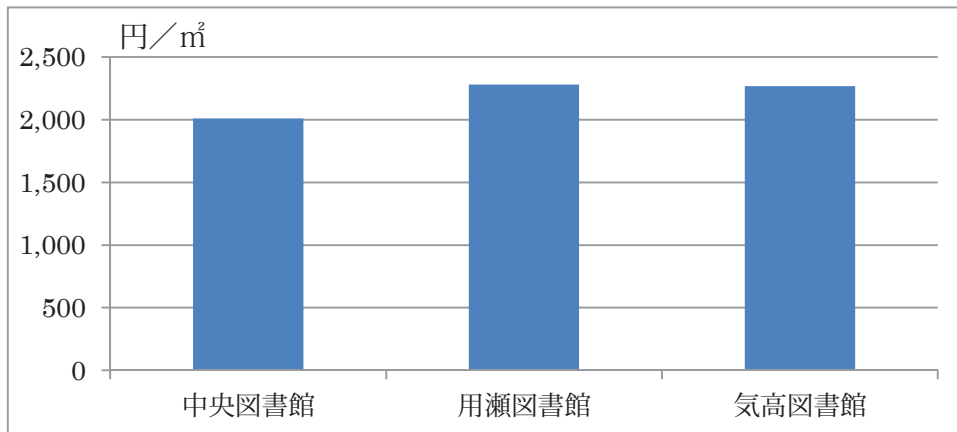
※このほか、資料整理のため休館する日があります。

【財務面】

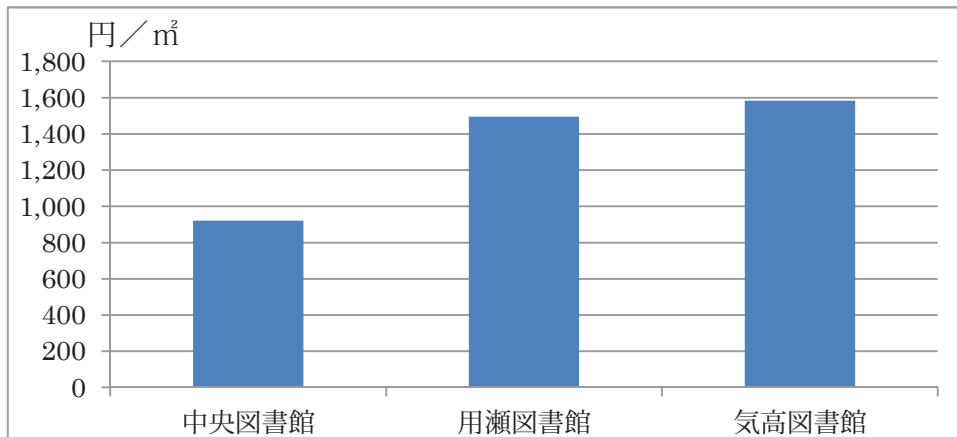
《施設管理コスト》

2012年度における光熱水費は1,112万円、維持管理費は551万円でした。(中央図書館は面積按分で算出)

《 1㎡あたりの光熱水費 》

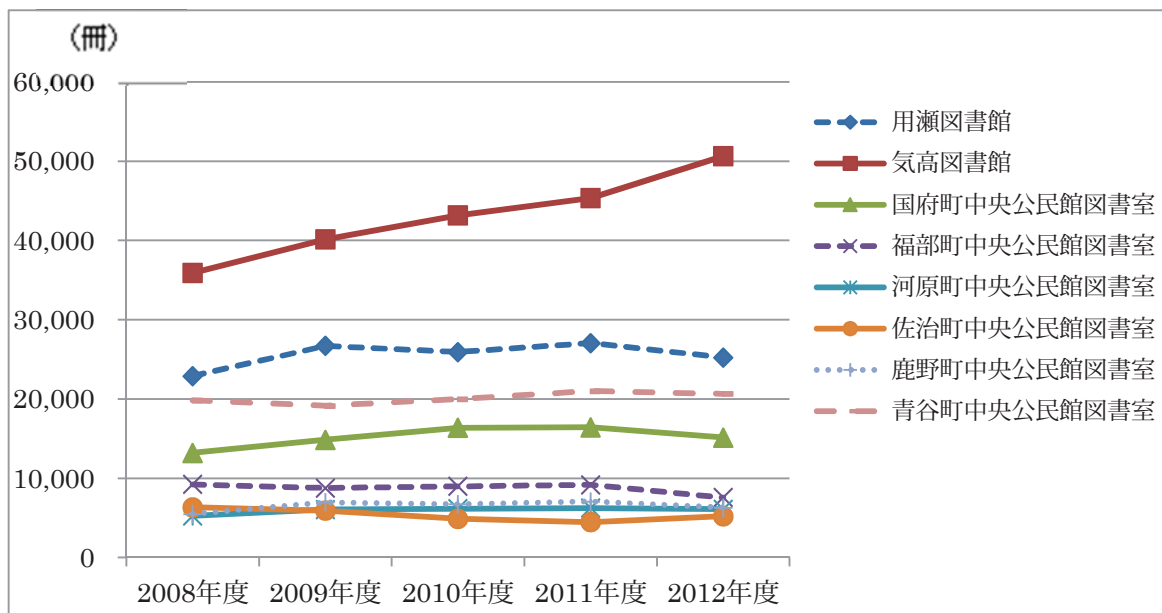


《 1㎡あたりの維持管理費 》

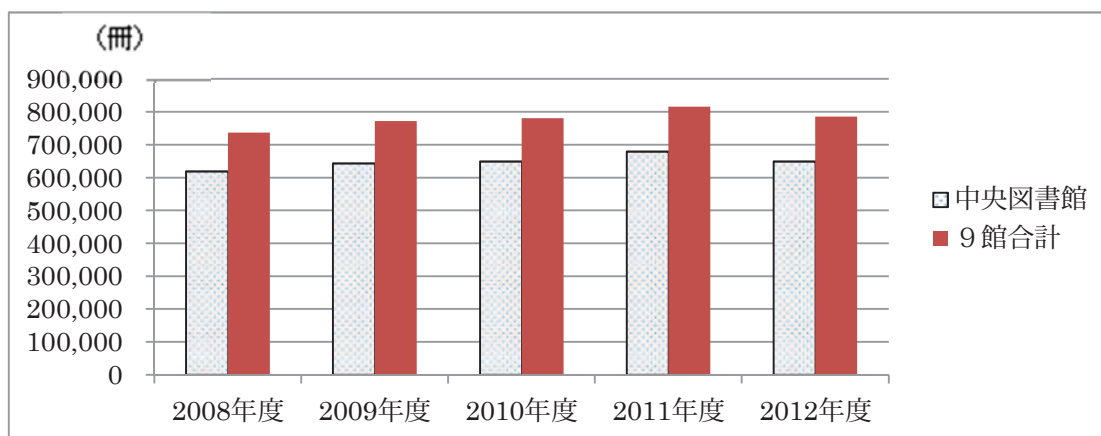


【利用状況】

《 個人貸出冊数の推移（中央図書館以外） 》

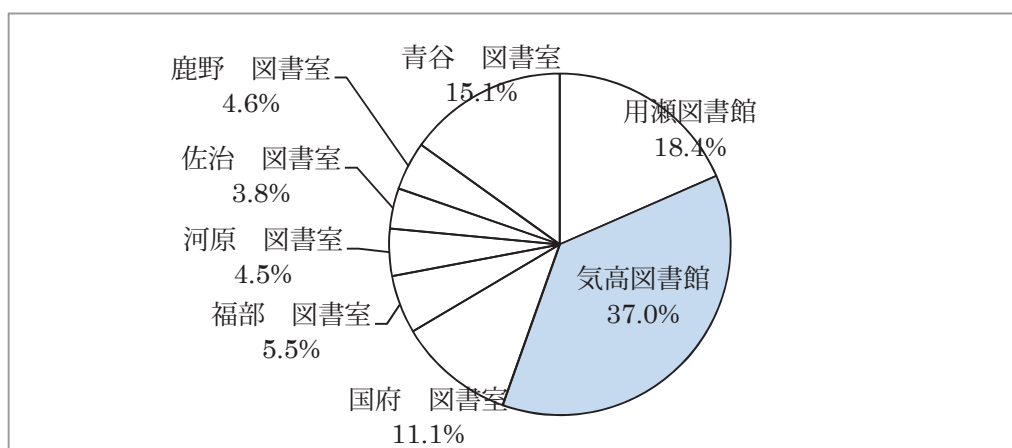


《個人貸出冊数の推移（中央図書館と全館）》



《個人貸出冊数の割合（中央図書館除く）》

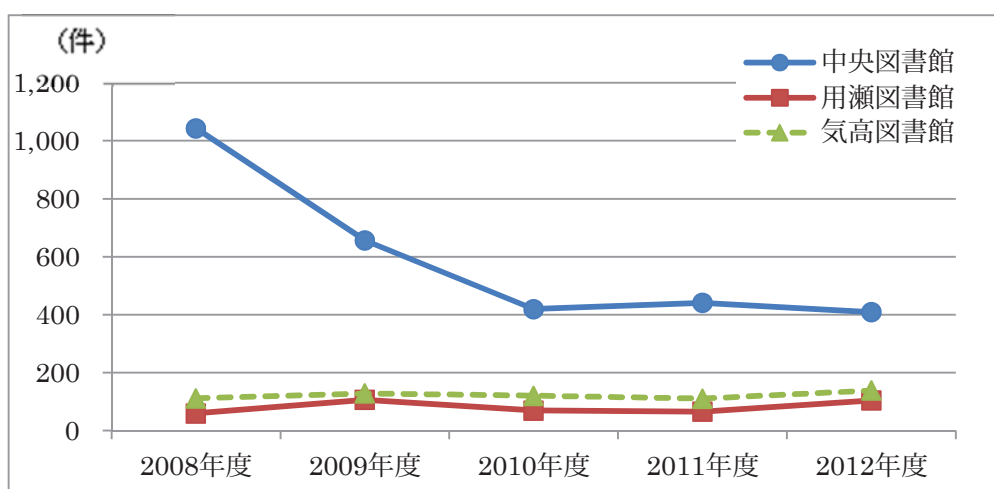
2012年度における個人貸出冊数は気高図書館が最も多くなっています。



※中央図書館を含めるとその他の図書館の割合に差が出ないため除いています

《レファレンス件数の推移》

インターネットの普及によって図書館に寄せられる質問件数は少なくなっています。



※レファレンス：調査・研究に対する資料による支援サービス

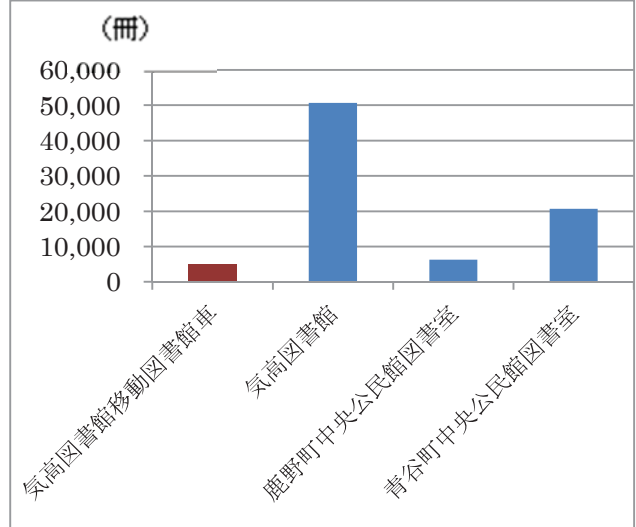
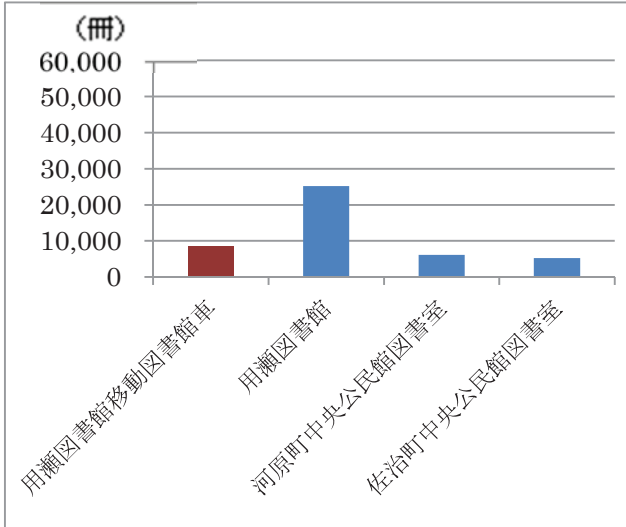
《移動図書館車と各図書館・室の貸出冊数比較》

図書館が整備されていない地域については、中央公民館図書室が、分室的な機能を果たしていますが、図書館に比べると利用は少なくなっています。

図書館・図書室から遠い地域には、移動図書館車が貸出サービスを行っています。

■鳥取南地域（河原、用瀬、佐治）

■鳥取西地域（気高、鹿野、青谷）



※国府・福部地域は、各中央公民館図書室及び中央図書館の移動図書館車が貸出サービスを実施

【更新経費】

《今後 50 年の修繕・更新費用の試算》

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 1 億 8,500 万円。年平均 400 万円と試算されます。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	123,638	
修繕・更新コスト	27,943	
維持管理コスト	10,871	
解体・除却コスト	23,252	
計	185,704	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	2,473	
修繕・更新コスト	559	
維持管理コスト	217	
解体・除却コスト	465	
計	3,714	

